



平成 29 年 9 月 27 日

各 位

上場会社名 株式会社エフオン
代表者名 代表取締役 島崎 知 格
(コード番号：9514 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 小池 久 士
(TEL：03-5299-8521)

和歌山県新宮市 木質バイオマス発電事業について

当社では、本日開催の取締役会にて、和歌山県新宮市で、新たに木質バイオマス発電事業を推進することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本件事業推進の経緯

当社グループでは、平成 18 年より「日田発電所（大分県日田市）」、「白河発電所（福島県白河市）」を稼働運転してまいりました。また、平成 28 年 8 月より竣工した大分県豊後大野市の「豊後大野発電所」は、稼働開始から大きなトラブルもなく順調に高稼働率を維持し、当社グループの業績に大きく貢献する結果となりました。さらに、平成 31 年稼働予定の栃木県壬生町における「壬生発電所」は、現在順調に計画を推進しております。

この度の和歌山県新宮市における開発は、豊後大野発電所及び壬生発電所と同等規模の木質バイオマス専焼発電所となります。当地域での開発に際して、我が国有数の木材産出地であったことから森林資源の潜在性は高く、木質バイオマス発電に必要な燃料確保が充分に見込まれること、また日本の「新たな木材産業のしくみ」を地域産業とともに生み出すにふさわしい地であることから、事業開発を推進することといたしました。

2. 事業の目的

我が国のエネルギー情勢は、石炭や石油、天然ガスなどの化石燃料による火力発電への依存が強まる中、電力制度改革やパリ協定を踏まえたエネルギー政策により、再生可能エネルギーによる発電へのシフト期待が増加する状況が続くことが見込まれます。その中でも、木質バイオマス発電においては、単なるエネルギー源としての目的だけでなく、木質燃料の購入・消費を通じて、林業・製材事業者、廃棄物業者、運送業者など、多岐にわたる産業復興効果があること。加えて、事業の継続を通じて地域経済に雇用や産業振興機会を創出する効果が期待されます。また、再生可能エネルギーとして、地球環境を考慮した純国産木材で電気を供給するという本来の意義を備えた事業です。

以上のような意義、目的を実現するために、当社グループでは、木質バイオマス発電設備の新設開発に加え、周辺分野への投資を拡大してまいります。既存3基の発電設備に加え、建設中の壬生発電所における経験を踏まえ、さらに木質燃料に適した運用効率の高い設備を完成させるべく、当事業を推進いたします。

また、当該発電事業の推進に伴い固定資産の取得等、重要な事項が決定された場合は速やかにお知らせいたします。

3. 事業及び設備の概要

【事業会社の概要】

会社名	株式会社エフオン第五
所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号
代表者	代表取締役 森 広器
資本金	100万円
資本構成	株式会社エフオン 100%
設立年月日	平成28年11月
事業内容	木質バイオマスによる発電及び電力卸売事業

【木質バイオマス発電設備概要】

設備名称	新宮発電所(仮)
立地候補地	和歌山県新宮市 新宮港第二期工業用地
敷地面積	約53,000㎡
ボイラー蒸発量	約77ton/時
定格出力	18,000kW
年間稼働日数	330日/年(24時間稼働)
年間発電量	約122,000MWh/年(送電端)
燃料使用量	約18万ton/年
総投資額	約100億円

4. 今後の見通し

発電所の事業開始時期は平成33年(2021年)中を目途に計画を進めております。また発電所の竣工、及び事業の開始時期等につきましては、今後わかり次第、速やかにお知らせいたします。

なお、本件決定に伴う当連結会計年度の当社グループ業績見通しに与える影響は軽微であります。

以 上